

鎌倉市由比ヶ浜南遺跡24・25・32号墓出土の中世人骨

松下真実*・松下孝幸**

【キーワード】：神奈川県、中世人骨、集骨、頭蓋、幼小児骨、病変、刀創

はじめに

神奈川県鎌倉市由比ヶ浜四丁目1101番2外に所在する由比ヶ浜南遺跡は、県営地下駐車場建設に伴って発掘調査が実施された遺跡である。1995（平成7）年3月から1997（平成9）年9月にかけての発掘調査で、埋葬人骨遺構と集骨遺構とが検出され数千体の人骨が出土した。集骨された人骨の体数は3108体をカウントしたが、正確な体数は不明であり、少なくとも3108体は存在するが、実数はおそらく4000体に達すると思われる。集骨遺構のうち、158号墓、5318号墓、204B号墓、123号墓から出土した人骨については人骨所見などをすでに報告した（松下、2002a、2002b）。その後、9号墓（松下・他、2018）および10・14・86号墓（松下・他、2019）から出土した人骨についても報告している。その他の遺構から出土した人骨については、整理・復元作業に時間がかかり、人骨所見の報告ができていない。残りの遺構から出土した人骨の整理作業を現在も継続しており、今後、復元が終了したものについて順次報告していく予定である。

今回は、整理作業や復元作業が終わった24号墓、25号墓、32号墓から検出された人骨について、体数や人骨所見を報告する。

資 料

人骨は24、25、32号墓の集骨遺構から出土した人骨で、一次葬の様相を呈するものは存在しない。人骨を取り上げる際に、番号がつけられているが、人骨を解剖学的に精査し、体数などを検討した。24号墓から出土した人骨は、成人骨が3体分（女性3体）、未成人骨が3体分（幼児2体、小児1体）の合計6体分である（表1）。24-Y-1と24-Y-2は頭蓋を除くほぼ1体分の骨が残存していた。なお、24-Y-2の左側大腿骨には病変による骨増殖が認められる。

25号墓から出土した25-Y-1と25-Y-2は、骨体の大きさや骨質が非常によく似ているが、左側距骨が重複していることから別個体と判断した。また、25-VE-1は椎骨のみで、25-Y-1と25-Y-2のどちらかと同一個体と考えられるが、特定できない。25号墓から出土した人骨は成人骨が2体分（女性2体）、未成人骨が1体分（小児）の合計3体分である（表1）。

32号墓から検出された人骨は、頭蓋骨と下顎骨であるが、頭蓋骨の数が下顎骨よりも多い。精査したところ、成人頭蓋は10体分（32-SK-1,2,4,5,6,7,9,10,11,14）、幼小児頭蓋は4体分（32-SK-8,12,13,19）、前頭骨が4体分（32-SK-3,18,21,23）、右頭頂骨は1体分（32-SK-17）、下顎骨が2体分（MA-1,2）である。頭蓋と前頭骨は別個体なので、成人の最小個体数は頭蓋と前頭骨の数から14体分（男9、女4、不明1）である。幼小児骨については、頭頂骨を含む複数の頭蓋骨からなる頭蓋は4体分（SK-8,12,13,19）である。従って、32号墓から検出された人骨の最小個体数は、頭蓋の数

から、成人14体分(男9、女4、不明1)と幼小児4体分の合計18体である(表1)。人骨は頭蓋のみで、四肢骨が存在しないことから遺骨を集積する際、頭蓋だけを採集し、埋納したものと思われる。

人骨番号や性別、年齢などは表2に示した。なお、本人骨は考古学的所見から、中世に属する人骨である。

計測方法は、Martin-Saller (1957)によったが、脛骨の横径はオリビエの方法(前縁がノギスの針の中央に位置するようにして計測)で計測し、鼻根部については鈴木(1963)と松下ら(1983)の方法で計測した。なお、年齢区分を表3に示した。

表1 資料数 (Table 1. Number of materials)

	成人			幼小児	合計
	男性	女性	不明		
24号墓	0	3	0	3	6
25号墓	0	2	0	1	3
32号墓	9	4	1	4	18
合計	9	9	1	8	27

表3 年齢区分 (Table 3. Division of age)

	年齢区分	年齢
未成人	乳児	1歳未満
	幼児	1歳～5歳 (第一大臼歯萌出直前まで)
	小児	6歳～15歳 (第一大臼歯萌出から第二大臼歯根完成まで)
	成年	16歳～20歳 (蝶後頭軟骨結合癒合まで)
成人	壮年	21歳～39歳 (40歳未満)
	熟年	40歳～59歳 (60歳未満)
	老年	60歳以上

注) 成年という用語については土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(松下、1996)を参照されたい。

所見

各骨の計測値は文末に一括して掲げた。

I 24号墓人骨

24-Y-1 (性別不明、小児、13歳前後)

下顎骨を除く頭蓋は欠損しているが、それ以外の骨はほとんど残存している。

1. 下顎骨

下顎骨はほぼ完全である。下顎枝はやや幅広く、下顎切痕は浅い。

(左)、中央横径は 19mm (左右) で、中央断面示数は 79.17 (右)、76.00 (左) となり、骨体には扁平性は認められない。骨体周は 70mm (左右)、最小周は 68mm (左右) で、骨体はやや細い。

④腓骨

右側の骨体はほぼ完全である。骨体の径は細い。稜の発達は弱く、溝も浅い。

4. 性別・年齢

大坐骨切痕の角度が小さいことから、男性の可能性はあるが、未成人なので性別不明としておきたい。年齢は、下顎の歯の萌出状況と四肢骨の大きさから、13 歳前後と推定した。

24-Y-2 (女性・年齢不明)

頭蓋は欠損しているが、四肢骨、胸骨、肋骨、椎骨、仙骨、指の骨は残存している。

1. 下顎骨

下顎骨は完全である。左側の筋突起は外反しており、下顎体の高径はやや高く、咬筋粗面の発達は良好である。下顎枝は幅広く、下顎切痕は深い。

2. 歯

下顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小白歯、5: 第二小白歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 1 度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。歯の咬合形式は不明である。

3. 四肢骨

(1) 上肢骨

肩甲骨、鎖骨、上腕骨、橈骨、尺骨が残存していた。

①鎖骨

右側のみが残存していた。長さは長く、やや太い。

②上腕骨

両側の骨体が残存していた。右側は完全であるが、左側は上腕骨小頭が欠損している。骨体の長さは短く、骨頭はやや大きい。三角筋粗面の発達は良好は弱い。

計測値は、最大長が 279mm (右)、276mm (左)、骨体最小周は 56mm (右)、54mm (左)、中央周は 58mm (右)、56mm (左) で、長厚示数は 20.07 (右)、19.57 (左) である。また、中央最大径は 19mm (右)、18mm (左)、中央最小径は 16mm (左右) で、骨体断面示数は 84.21 (右)、88.89 (左) となり、骨体の扁平性は弱い。

③橈骨

両側とも完全である。骨体は短く、細い。骨間縁の発達は悪い。

④尺骨

両側の骨体が残存していた。左側は完全で、右側は尺骨頭が欠損して居る。骨体は細い。骨間縁の発達は悪い。

(2) 下肢骨

寛骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨および腓骨が残存していた。

① 寛骨

両側の寛骨はほぼ完全である。大坐骨切痕の角度と恥骨下角は大きい。また、耳状面前溝は深い。

② 大腿骨

両側とも完全である。骨体は短くて細い。骨頭は小さいが、粗線は明瞭で隆起しているが、骨体両側面の後方への発達が悪い。骨体上部は扁平である。左側骨体には異常な骨増殖による肥大が認められる。

計測値は、最大長が 383mm (右)、385mm (左)、骨体中央周は 80mm (右)、(103) mm (左、病変) で、長厚示数は 21.06 (右) となり、骨体はやや頑丈である。骨体中央矢状径は 26mm (右)、27mm (左、病変)、横径は 24mm (右)、31mm (左、病変) で、骨体中央断面示数は 108.33 (右)、(87.10) (左、病変) となり、右側の粗線は明瞭で隆起しているが、骨体両側面の後方への発達が悪い。左側骨体は病的な骨増殖によって肥大している。上骨体断面示数は 75.00 (右)、68.75 (左、病変) となり、右側の骨体上部は扁平である。

③ 脛骨

両側とも完全である。骨体は短くて細い。ヒラメ筋線は明瞭でやや発達している。骨体の断面形は両側ともヘリチカのⅡ型 (内側を底辺として骨間縁を頂点とする鈍角二等辺三角形) を呈している。

計測値は、脛骨最大長が 306mm (左右)、骨体周は 75mm (左右)、最小周は 68mm (右)、66mm (左) で、骨体は細く、長厚示数は 22.59 (右)、21.85 (左) である。中央最大径は 27mm (左右)、中央横径は 19mm (右)、18mm (左) で中央断面示数は 70.37 (右)、66.67 (左) となり、左側はやや扁平であるが、右側には扁平性は認められない。

④ 腓骨

両側とも完全である。骨体は短く、径はやや大きい。稜の発達は良好であるが、溝は浅い。

4. 推定身長値

大腿骨最大長から、Pearson および藤井の公式を用いて推定身長値を算出すると、それぞれ 147.34cm (Pearson、右)、147.73cm (Pearson、左)、146.84cm (藤井、右)、147.55cm (藤井、左) となり、低身長である。

5. 性別・年齢

性別は、四肢骨が細く、大坐骨切痕の角度や恥骨下角が大きいことから女性と推定した。年齢は不明であるが、下顎第三大臼歯の咬耗程度、恥骨結合面の形態、椎骨体の形態から壮年の可能性がある。

24-Y-3 (女性・年齢不明)

大腿骨、脛骨、腓骨が残存していた。

1. 四肢骨

① 大腿骨

左側の大腿骨は比較的保存状態は良好である。骨体は短い。粗線は明瞭であるが、発達はそれほど

咬耗度は Broca の1度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。歯の咬合形式は不明である。両側の上顎乳中切歯と上顎乳側切歯の歯冠には、歯根に近い場所で冠状に走る齶蝕様の異常なエナメル質の欠損が認められる。

3. 性別・年齢

年齢は、歯の萌出程度と歯根の形成状態から1歳～1.5歳と推定した。性別は不明である。

24-MA-1 (幼児、1.5歳)

下顎骨のみが残存していた。

1. 下顎骨

下顎体が残存していた。保存状態は悪い。

2. 歯

下顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

乳歯

／IV III II I | I II III IV／

〔／：不明 (破損)〕

〔I：乳中切歯、II：乳側切歯、III：乳犬歯、IV：第一乳臼歯、V：第二乳臼歯〕

咬耗度は Broca の1度 (咬耗がエナメル質のみ) で、咬耗は弱い。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

年齢は、歯の萌出程度と歯根の形成程度から1.5歳と推定した。性別は不明である。

24-MA-2 (性別・年齢不明 [成人骨])

下顎骨のみが残存していた。

1. 下顎骨

右側の下顎骨が残存していた。下顎体は低く、下顎枝はやや幅広い。下顎切痕は浅い。咬筋粗面の発達は良好である。

2. 歯

下顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 ⑤ ④ ③ ② ① | / / / / / / / /

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 /：不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大白歯、7：第二大白歯、8：第三大白歯〕

咬耗度は Broca の3度 (咬耗が象牙質まで及ぶ) で、咬耗は非常に強い。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別、年齢は不明であるが、歯の咬耗が著しく強いので高齢の可能性はある。

II 25号墓人骨

25-Y-1 (女性・年齢不明)

右側前腕の骨と寛骨、手と足の指骨、足根骨が残存していた。

1. 橈骨

右側の骨体が残存していた。骨体は細く短い。骨間縁の発達は良好である。

2. 尺骨

右側の骨体が残存していた。骨体は細く短い。骨間縁はやや発達している。滑車切痕縁に棘の形成が認められる。

3. 寛骨

両側の腸骨体が残存していた。大坐骨切痕の角度は広い。観察が可能であった左側腸骨体には耳状面前溝が確認できた。耳状面の縁には棘が形成されている。

4. 性別・年齢

性別は、寛骨の大坐骨切痕の角度が広いので女性と推定した。年齢は不明であるが、関節面に棘が形成されているので、あまり若くはなさそうである。

25-Y-2 (女性・年齢不明)

鎖骨、上腕骨、足の指骨、足根骨が残存していた。

1. 上腕骨

両側の骨体が残存していた。骨体は細くて短い。三角筋粗面の発達は良好である。骨質は25-Y-1とよく似ているが、肘関節部分が一致しなかったので別個体である。

計測値は、中央最大径が19mm(左)、中央最小径は13mm(左)で、骨体断面示数は68.42(左)となり、骨体は扁平である。骨体最小周は53mm(左)、中央周は58mm(左)で、骨体は細い。

2. 性別・年齢

性別は、上腕骨や足根骨が細く小さいので女性と推定した。年齢は不明である。

25-EV-1 (性別・年齢不明)

1. 椎骨

腰椎体5個、胸椎体5個と椎弓などの破片が残存していた。椎体には棘が形成されているので25-Y-1と同一個体の可能性もある。

25-FB-1 (小児)

1. 腓骨

左側の骨体遠位が残存していた。遠位部は骨端がまだ遊離している。

2. 性別・年齢

骨体と骨端がまだ癒合していないことや、骨体の大きさから小児と推定した。

Ⅲ 32号墓人骨

32-SK-1 (女性・壮年)

1. 頭蓋

前頭骨と頭頂骨、後頭骨、左側側頭骨、左側頬骨が残存していた。骨壁は堅牢である。骨壁はそれほど厚くない。前頭結節の発達良好で、前頭鱗は膨隆している。眉上弓の隆起は認められない。眼窩上縁は鋭くて薄い。乳様突起は欠損しているため、大きさは不明である。外耳道の観察はできなかった。縫合は、冠状縫合と矢状縫合の観察ができた。冠状縫合と矢状縫合は内外両板ともに開離している。

2. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が良好で、前頭鱗は膨隆しており、眉上弓に隆起は認められないことから、女性と推定した。年齢は、冠状縫合と矢状縫合の内外両板が開離していることから、壮年と推定した。

3 2 - S K - 2 (男性・熟年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

前頭骨、右側頭頂骨、右側側頭骨、左側錐体と左側頭頂骨、後頭骨の一部が残存していた。保存状態は悪い。骨壁はそれほど厚くない。前頭結節の発達は弱い。最上項線は明瞭でよく発達しており、外後頭隆起もやや発達している。乳様突起は太くて短い。頬骨突起後方から頭頂切痕にかけて著しく隆起している。右側の外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。

縫合は、冠状縫合、ラムダ縫合と矢状縫合の一部が観察できた。その内板はすべて癒合しており、外板も癒合が進んでいる。

(2) 顔面頭蓋

上顎骨と右側頬骨が残存していた。保存状態は悪い。眉上弓の隆起は弱く、鼻骨の隆起も弱く、鼻根部は扁平である。計測はできなかった。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／／⑥ 5 4 ③②① | ①②③④⑤ 6 ／／

〔○：歯槽開存　／：不明（破損）、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大白歯、7：第二大白歯、8：第三大白歯〕

咬耗度は Broca の 4 度（咬耗が歯根の部分まで及ぶ）で、咬耗はきわめて強い。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、外後頭隆起がやや発達し、最上項線も明瞭で発達しており、乳様突起が大きいことから、男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板はすべて癒合しており、外板の癒合も進んでいることから、熟年と推定した。

4. 刀創

前頭骨の額部分に矢状方向に走る 14mm の刀創が認められる。刀創には治癒痕（骨の再生痕）があることから傷を受けてもしばらくは生存していたと推定される。

32-SK-3 (男性・壮年)

1. 頭蓋

前頭骨のみ残存していた。骨壁はそれほど厚くない。前頭結節の発達は弱い。縫合は、冠状縫合の内外両板が確認できた。内板は癒合が進んでいるものの開離しており、外板も開離している。

2. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が弱いことから男性と推定した。年齢は、冠状縫合の内板は癒合が進んでいるもののまだ開離していたようで、外板は開離していることから、壮年と推定した。

32-SK-4 (性別不明・壮年)

1. 頭蓋

左側頭頂骨が残存していた。骨壁はやや薄い。縫合は冠状縫合と矢状縫合が観察できたが、内外両板とも開離している。

2. 性別・年齢

年齢は、縫合は冠状縫合と矢状縫合の内外両板がまだ開離していることから、壮年と推定した。性別は不明である。

32-SK-5 (男性・熟年)

1. 頭蓋

右側頭頂骨から右側側頭骨にかけてと右側眉上弓の一部が欠損しているが保存状態は比較的良好である。骨壁はやや厚く、堅牢である。前頭結節の発達は弱く、眉上弓の隆起は著しく強い。最上項線は明瞭でよく発達しており、外後頭隆起の発達も良好である。乳様突起は大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。

縫合は、三主縫合とも観察できた。三主縫合は内外両板ともかなり癒合が進んでいる。

2. 性別・年齢

性別は、眉上弓の隆起が著しく強く、最上項線は明瞭でよく発達しており、外後頭隆起の発達も良好で乳様突起は大きいことから男性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板ともかなり癒合が進んでいることから、熟年と推定した。

32-SK-6 (女性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

前頭骨と左側頭頂骨の前方部分、右側頭頂骨の一部、両側の側頭骨が残存していた。骨壁はやや厚く、堅牢である。前頭結節の発達は良好である。乳様突起の大きさは不明である。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。

縫合は、冠状縫合と矢状縫合の一部が観察できた。冠状縫合と矢状縫合は内外両板とも開離している。

(2) 顔面頭蓋

両側の上顎骨、左側頬骨が残存していた。眉上弓の隆起はきわめて弱く、鼻根部は広くて扁平である。強い歯槽性突顎が認められる。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 4 ③ ② ① | ① ② ③ 4 5 6 7 8

〔○：歯槽開存、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大白歯、7：第二大白歯、8：第三大白歯〕

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）で、咬耗は弱い。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が良好で、眉上弓の隆起がほとんど認められないことから女性と推定した。年齢は、冠状縫合と矢状縫合が内外両板とも開離していることから、壮年と推定した。

32-SK-7（男性・壮年）

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

前頭骨の一部と右側側頭骨が欠損しているが、保存状態は比較的良好である。骨壁はやや厚く、堅牢である。眉上弓は著しく隆起しており、外後頭隆起の発達もきわめて良好である。乳様突起はそれほど大きくはない。左側の外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。三主縫合の観察ができたが、内外両板とも開離している。

2. 性別・年齢

性別は、眉上弓が強く隆起しており、外後頭隆起も発達していることから男性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板が開離していることから、壮年と推定した。

32-SK-8（小児、8歳前後）

1. 頭蓋

前頭骨の一部と左右の頭頂骨、左側側頭骨、上顎骨が残存していた。骨壁は薄い。乳様突起は小さい。左側の外耳道の観察ができたが、骨腫は認められない。縫合は、三主縫合の観察ができたが、内外両板とも開離している。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／ 7 6 ⑤ ④ ③ 2 ① | ① 2 ③ ④ ⑤ 6 ⑦ ／

〔○：歯槽開存 ／：不明（破損）、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大白歯、7：第二大白歯、8：第三大白歯〕

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）で、咬耗は弱い。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

年齢は、歯の萌出程度と歯根の形成程度から 8 歳前後と推定した。性別は不明である。

32-SK-9 (女性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

脳頭蓋はほぼ完全である。骨壁はやや厚く、堅牢である。前頭結節の発達は良好である。外後頭隆起の発達はよくない。最上項線も不明瞭である。乳様突起はやや小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合の観察ができた。三主縫合は内外両板ともに明瞭で開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 179mm、頭蓋最大幅は 140mm、バジオン・ブレグマ高は 138mm である。頭蓋長幅示数は 78.21、頭蓋長高示数は 77.10、頭蓋幅高示数は 98.57 となり、頭型は中頭型・高頭型・尖頭型 (meso-,hypsi-,akrokran) に属している。また、頭蓋水平周は 502mm、横弧長は 318mm、正中矢状弧長は 387mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋もほぼ完全である。眉上弓の隆起は弱く、鼻骨の隆起も弱い。鼻骨は狭く、鼻根部はあまり扁平ではない。

顔面頭蓋の計測値は、顔長が 100mm、頬骨弓幅は 132mm、中顔幅は (98) mm、上顔高は 74mm で、顔示数は上顔示数は 56.06 (K)、75.51 (V) となり、顔面には高・狭顔傾向が認められる。

眼窩幅は 42mm (左右)、眼窩高は 33mm (右)、34mm (左) で、眼窩示数は 87.57 (右)、80.95 (左) となり、右側は高眼窩 (hypsikonch)、左側は中眼窩 (mesokonch) に属している。

鼻幅は 26mm、鼻高は 55mm で、鼻示数は 47.27 となり、中鼻 (mesorrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 17mm、鼻根横弧長は 20mm、鼻根彎曲示数は 85.00 となり、鼻根部はそれ程扁平ではない。両眼窩幅は 95mm で、眼窩間示数は 17.89 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅が狭い。

側面角は、全側面角が 80 度、鼻側面角が 82 度、歯槽側面角は 75 度で、歯槽性突顎の傾向は弱い。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑧ ⑦ 6 5 4 ③ ② 1 | 1 ② ③ 4 5 6 7 ⑧

〔○: 歯槽開存、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 2 度 (咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ) である。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が良好で、外後頭隆起の発達は悪く、眉上弓の隆起も弱いことから女性と推定した。年齢は、三主縫合の内外両板が開離していることから、壮年と推定した。

32-SK-10 (男性・壮年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

頭蓋底が欠損しているものの比較的保存状態は良好である。前頭結節の発達はやや弱い。外後頭隆起の発達はそれほど強くない。乳様突起は大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。縫合は、三主縫合とも観察ができた。内板では、冠状縫合が癒合しているが、矢状縫合とラムダ縫合は癒合が進んでいるもののまだ開離している。外板は、三主縫合とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 195mm、頭蓋最大幅は 132mm である。頭蓋長幅示数は 67.69 となり、頭型は過長頭型 (hyperdolichokran) に属している。また、頭蓋水平周は 528mm、横弧長は 315mm である。

(2) 顔面頭蓋

顔面骨は残存しているが、前頭骨と接合ができない。眉上弓と眉間は隆起している。鼻骨は狭く、鼻根部も狭い。鼻根部は、それほど扁平ではない。

顔面頭蓋の計測値は、中顔幅が [106] mm、上顔高は 73mm で、上顔示数は 68.87 (V) となる。中眼幅の推定値はやや大きい、上顔高は 73mm もあるので、高上顔である。歯槽側面角の計測はできないが、観察したところ歯槽性突顎は認められない。

眼窩幅は 49mm (右)、眼窩高は 34mm (右) で、眼窩示数は 69.39 (右) となり、右側は低眼窩 (chamaekonch) に属している。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 5 4 ● 2 1 | 1 2 ● 4 5 6 7 8

〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 2 度 (咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ) ~ 咬耗度は Broca の 3 度 (咬耗が象牙質まで及ぶ) である。歯の咬合形式は不明である。なお、上顎両側犬歯が抜去されている。そのため両側の第一小臼歯が捻転している。歯槽の様態は縄文・弥生時代にみられる風習的抜歯の様相である。また、左側側切歯は矮小歯である。

3. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が弱く、眉上弓や眉間が強く隆起しており、乳様突起も大きいことから、男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板では、冠状縫合が癒合しているが、矢状縫合とラムダ縫合は癒合では開離しており、外板では、三主縫合とも開離していることから、壮年と推定した。

32-SK-11 (男性・熟年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

左側側頭骨の一部が欠損しているが、ほぼ完全である。骨壁はやや厚く、堅牢である。前頭結節の発達は弱い。最上項線は明瞭で、外後頭隆起は棘状に隆起し、発達はきわめて良好である。乳様突起は大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。三主縫合の観察ができた。内板はかなり癒合が進んでいるが、冠状縫合では部分的に開離している。外板はやや癒合が進んでいる。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 176mm、頭蓋最大幅は 137mm である。頭蓋長幅示数は 77.84 となり、頭型は中頭型 (mesokran) に属している。また、頭蓋水平周は 498mm、横弧長は 247mm、正中矢状弧長は 365mm である。

(2) 顔面頭蓋

右側の頬骨が残存しているのみである。眉上弓の隆起は弱い。右側眼窩の高径は高そうである。

2. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達は弱く、最上項線は明瞭で、外後頭隆起は棘状に隆起し、発達がきわめて良好で、乳様突起も大きいことから、男性と推定した。年齢は、三主縫合の内板ではかなり癒合が進んでおり、外板も癒合が進んでいることから、熟年と推定した。

3 2 - S K - 1 2 (幼児、5歳前後)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

左側頭頂骨と後頭骨の一部が欠損しているが、ほぼ完全である。骨壁は薄い。前頭結節は発達し、前頭鱗は膨隆し、幼児の頭蓋の様相を呈している。外後頭隆起は発達しておらず、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。三主縫合の観察ができたが、内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が 159mm、頭蓋最大幅は 129mm、バジオン・ブレグマ高は 133mm である。頭蓋長幅示数は 81.13、頭蓋長高示数は 83.65、頭蓋幅高示数は 103.10 となり、頭型は短頭型・高頭型・尖頭型 (brachy-,hypsi-,akrokran) に属している。また、頭蓋水平周は 461mm、横弧長は 299mm、正中矢状弧長は 355mm である。

(2) 顔面頭蓋

右側の頬骨と右側上顎骨が残存していた。左側前頭突起の向きは矢状方向である。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

永久歯

／／ 6 ／ ④ ③ 2 1 | 1 2 3 4 ／ 6 7 ／

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 ／：不明（破損）、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小白歯、5：第二小白歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

乳歯

V IV ／／／ | ／／／／／

〔I：乳中切歯、II：乳側切歯、III：乳犬歯、IV：第一乳臼歯、V：第二乳臼歯〕

咬耗度は乳歯、永久歯ともに Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）で、咬耗は弱い。

3. 性別・年齢

年齢は、歯の萌出程度と歯根の形成程度から 5 歳前後と推定した。性別は不明である。

32-SK-13 (小児、6歳)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

前頭骨の左側眼窩上縁から前頭鱗にかけて欠損しているが、ほぼ完全である。骨壁は薄い。前頭結節の発達良好である。外後頭隆起の発達は弱く、乳様突起は小さい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。三主縫合は内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が168mm、頭蓋最大幅は137mmである。頭蓋長幅示数は81.55となり、頭型は短頭型 (brachykran) に属している。また、頭蓋水平周は(477)mm、横弧長は307mm、正中矢状弧長は(355)mmである。

(2) 顔面頭蓋

右側の頬骨と上顎骨が残存していた。顔面の接合はできない。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

永久歯

／／ 6 ⑤ ④ ③ ② 1 | 1 2 3 ④ / 6 7 /

〔●: 歯槽閉鎖 ○: 歯槽開存 /: 不明 (破損)、番号は歯種〕

〔1: 中切歯、2: 側切歯、3: 犬歯、4: 第一小臼歯、5: 第二小臼歯、6: 第一大臼歯、7: 第二大臼歯、8: 第三大臼歯〕

乳歯

V IV III II I | / II III IV V

〔I: 乳中切歯、II: 乳側切歯、III: 乳犬歯、IV: 第一乳臼歯、V: 第二乳臼歯〕

咬耗度は乳歯は咬耗度はBrocaの2度(咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ)、永久歯はBrocaの1度(咬耗がエナメル質のみ)で、咬耗は弱い。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

年齢は、歯の萌出程度と歯根の形成程度から6歳前後と推定した。性別は不明である。

32-SK-14 (男性・熟年)

1. 頭蓋

(1) 脳頭蓋

後頭鱗の一部と大後頭孔から外後頭稜にかけて欠損しているが、ほぼ完全である。骨壁はやや厚い。右側に前頭結節の発達がみられる。外後頭隆起はやや発達しており、乳様突起は大きい。両側の外耳道の観察ができたが、骨腫は左右ともに認められない。三主縫合は内外両板とも開離している。

脳頭蓋の計測値は、頭蓋最大長が191mm、頭蓋最大幅は137mmである。頭蓋長幅示数は71.73となり、頭型は長頭型 (dolichokran) に属している。また、頭蓋水平周は533mm、横弧長は313mmである。

(2) 顔面頭蓋

顔面頭蓋は左側頬骨の一部が欠損しているが、保存状態は比較的良好である。眉上弓はやや隆起し、

鼻骨の幅は狭く、鼻根部は扁平である。

顔面頭蓋の計測値は、頬骨弓幅が 132mm、中顔幅は 99mm、上顔高は 67mm で、上顔示数は 50.76 (K)、67.68 (V) となり、顔面にはやや低・広上顔傾向が認められる。

眼窩幅は (28) mm (右)、41mm (左)、眼窩高は 45mm (右)、34mm (左) で、眼窩示数は 62.22 (右)、82.97 (左) となり、右側は低眼窩 (chamaekonch)、左側は中眼窩 (mesokonch) に属している。

鼻幅は 25mm、鼻高は 50mm で、鼻示数は 50.00 となり、中鼻 (mesorrhin) に属している。

鼻根部の計測値は、前眼窩間幅が 18mm、鼻根横弧長は 19mm、鼻根彎曲示数は 94.74 となり、鼻根部は扁平である。両眼窩幅は 98mm で、眼窩間示数は 18.37 となり、顔の幅に対して、眼窩間幅が広い。歯槽側面角は計測できないが、観察によれば歯槽性突顎の傾向はみられない。

2. 歯

上顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

／ 7 6 5 4 3 2 1 | 1 2 3 4 5 6 7 8

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 ／：不明（破損）、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 3 度（咬耗が象牙質まで及ぶ）である。歯の咬合形式は不明である。

3. 性別・年齢

性別は、眉上弓が隆起し、外後頭隆起もやや発達しており、乳様突起が大きいことから、男性と推定した。年齢は、三主縫合が内外両板とも開離していることから、壮年と推定した。

3 2 - S K - 1 5 (男性・熟年)

1. 頭蓋

前頭骨眼窩上縁から前頭結節辺りまでと、左右の頭頂骨の矢状縫合部分が残存していた。骨壁は薄い、堅牢である。前頭結節の発達が悪く、眉上弓はやや隆起している。縫合は、冠状縫合と矢状縫合が観察できた。冠状縫合と矢状縫合の内板は癒合しているが、冠状縫合の外板はまだ明瞭に認められ、矢状縫合はほぼ癒合している。

2. 性別・年齢

性別は、眉上弓がやや隆起していることから男性と推定した。年齢は、冠状縫合と矢状縫合の内板が癒合しており、矢状縫合の外板も癒合していることから、熟年と推定した。

3 2 - S K - 1 6 (女性・壮年)

1. 頭蓋

前頭骨のみ残存がしていた。保存状態は比較的良好である。骨壁は薄い、堅牢である。前頭結節の発達は良好で、眉上弓の隆起は認められない。冠状縫合の観察ができたが、内外両板とも開離している。

2. 性別・年齢

性別は、眉上弓の隆起が認められないことから、女性と推定した。年齢は、冠状縫合が内外両板と

も開離していることから、壮年と推定した。

32-SK-17 (性別不明・壮年)

1. 頭蓋

右側の頭頂骨のみが残存していた。骨壁はやや薄い、堅牢である。矢状縫合と冠状縫合は、内外両板とも開離している。

2. 性別・年齢

年齢は、矢状縫合と冠状縫合が内外両板とも開離していることから、壮年と推定した。性別は不明である。

3. 刀創

ラムダ縫合の右側部に、斜め方向に長さ14mmの浅い傷が認められる。

32-SK-18 (男性・壮年)

1. 頭蓋

前頭骨のみが残存していた。骨壁はやや厚く、堅牢である。前頭結節の発達は見られない。眉上弓は隆起している。鼻骨は小さく狭く、鼻根部も狭かったようである。縫合は、冠状縫合の観察ができた。内外両板ともまだ開離していたようである。

2. 性別・年齢

性別は、前頭結節の発達が悪く、眉上弓が隆起していることから、男性と推定した。年齢は、冠状縫合の内外両板ともまだ開離していたようなので、壮年と推定した。

32-SK-19 (幼児)

1. 頭蓋

前頭骨と左右の頭頂骨が残存していた。骨壁は薄い。前頭鱗は膨隆している。前頭縫合と矢状縫合の観察ができたが、両縫合とも内外両板は開離している。

2. 性別・年齢

年齢は、頭蓋の大きさから幼児と推定した。

32-SK-20 (小児)

1. 頭蓋

右側頭頂骨が残存していた。骨壁は非常に薄い。前頭縫合と矢状縫合の観察ができた。両縫合は内外両板とも開離している。

2. 性別・年齢

年齢は、頭蓋の大きさから小児と推定したが、年齢は不明である。

32-MA-1 (男性・年齢不明)

1. 下顎骨

左側の下顎頭と左側下顎角を欠損しているが、保存状態は良好である。下顎骨は大きく、頑丈である。下顎体の高径はやや高く、下顎枝は幅広く、下顎切痕は浅い。咬筋粗面の発達は良好で、下顎角は外反している。

2. 歯

下顎骨には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

8 7 6 ⑤ ④ ③ ② ① | ① ② ③ ④ ⑤ 6 7 8

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）で、咬耗は弱い。歯の咬合形式は不明である。右側第二大臼歯の咬合面にやや大きな齲蝕が認められる。

3. 性別・年齢

性別は、下顎体の高径がやや高く、下顎枝は幅広く、下顎骨が大きいことから、男性と推定した。年齢は不明であるが、歯の咬耗が弱いことから若い可能性がある。

32-MA-2（男性・年齢不明）

1. 下顎骨

両側の下顎頭と右側下顎角および両側の筋突起を欠損しているが、保存状態は良好である。下顎骨は大きく、頑丈である。左側の筋突起はやや外反している。下顎体の高径は高く、下顎枝は幅広い。咬筋粗面の発達は良好で、下顎角は著しく外反している。

2. 歯

下顎には歯が釘植していた。残存歯と歯槽の状態を歯式で示すと、次のとおりである。

⑧ 7 6 5 4 3 ② ① | ① ② 3 4 5 6 7 ⑧

〔●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存、番号は歯種〕

〔1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯〕

咬耗度は Broca の 1 度（咬耗がエナメル質のみ）～ Broca の 2 度（咬耗が部分的に象牙質まで及ぶ）である。歯の咬合形式は不明である。左側第二大臼歯の咬耗がとくに強い。

3. 性別・年齢

性別は、下顎骨のサイズが大きく、頑丈なことから、男性と推定した。年齢は不明である。

要 約

神奈川県鎌倉市にある由比ヶ浜南遺跡の 24 号墓、25 号墓、32 号墓の 3 基の集骨遺構から出土した人骨の整理、復元をおこない、体数と人骨所見を検討した。その結果を要約すると次のとおりである。

1. 24 号墓から出土した人骨は、6 体分（女 3、小児 1、幼児 2）で、25 号墓から出土した人骨は 3 体分（女 2、小児 1）である。32 号墓から検出された人骨の最小個体数は、頭蓋の数から、成人 14 体分（男 9、女 4、不明 1）と幼小児 4 体分の合計 18 体である。

2. 本人骨群は、考古学的所見から、中世に属する人骨群である。
3. 24-Y-1 (小児、13歳前後) と 24-Y-2 (女性) は、頭蓋を除くほぼ全身の骨が残存していた。
4. 24-Y-1 の上腕骨の中央周は 50mm (左右)、骨体断面示数は 82.35 (右)、87.50 (左) で、骨体は細く、扁平性は弱い。また、大腿骨の中央周は 64mm (右)、66mm (左)、中央断面示数は 100.00 (右)、90.91 (左) で、骨体は細く、粗線や骨体両側面の後方への発達が悪い。脛骨の骨体周は 70mm (右)、68mm (左)、中央断面示数は 79.17 (右)、76.00 (左) で、骨体はやや細く、扁平性は認められない。
5. 24-Y-2 の上腕骨の中央周は 58mm (右)、56mm (左)、骨体断面示数は 84.21 (右)、88.89 (左) で、骨体はやや大きく、扁平性は弱い。また、大腿骨の中央周は 80mm (右)、(103) mm (左)、中央断面示数は 108.33 (右)、(87.10) (左) で、骨体は細く、粗線は明瞭で隆起しているが骨体両側面の後方への発達が悪い。脛骨の骨体周は 75mm (左右)、中央断面示数は 70.37 (右)、66.67 (左) で、骨体はやや細く、左側脛骨はやや扁平である。
6. 24-Y-2 の左側大腿骨には病変 (骨膜炎) がみられる。
7. 25-Y-2 の上腕骨の中央周は 58mm (左)、骨体断面示数は 68.42 (左) で、骨体は細く、骨体は扁平である
8. 32号墓から検出された頭蓋のうち頭型を知ることができたものが4体あり、2体は中頭型 (32-SK-9・女、32-SK-11・男)、1例は過長頭型 (32-SK-10・男)、1例は長頭型 (32-SK-14・男) であった。顔面の計測ができるものが3体あった。32-SK-9 (女) の上顔示数は 56.06 (K)、75.51 (V) で、高・狭上顔である。32-SK-10 (男) の上顔示数は 68.87 (V)、32-SK-14 (男) の上顔示数は 50.76 (K)、67.68 (V) で、前者は高上顔で、後者は低・上顔傾向を示している。

《参考文献》

1. Martin-Saller, 1957: Lehrbuch der Anthropologie. Bd.1. Gustav Fisher Verlag, Stuttgart: 429-597.
2. 松下孝幸・他、1983: 山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土の人骨。土井ヶ浜遺跡第7次発掘調査概報 (豊北町埋蔵文化財調査報告2): 19-30.
3. 松下孝幸、1996: 土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査出土の中世・弥生時代人骨。土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書 (山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第12集): 24-50.
4. 松下孝幸、2002a: 神奈川県鎌倉市由比ヶ南遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉: 1-99.
5. 松下孝幸、2002b: 鎌倉市由比ヶ南遺跡集骨墓出土中世人骨の埋葬と個体数および受傷人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉: 101-134.
6. 松下孝幸・他、2018: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡9号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第13号: 19-34.
7. 松下孝幸・他、2019: 鎌倉市由比ヶ浜南遺跡10・14・86号墓出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第14号: 17-58
8. 鈴木 尚、1963: 日本人の骨。岩波書店、東京。

* Masami MATSUSHITA、特定非営利活動法人 人類学研究機構

** Takayuki MATSUSHITA、土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム、NPO法人 人類学研究機構

表2 出土人骨一覧 (Table 2. List of skeletons)

	人骨番号	取り上げ番号	性別	年 齢		備 考
24号墓	24-Y-1	—	不明	小児	13歳前後	頭蓋を除くほぼ全身骨
	24-Y-2	—	女性	不明		頭蓋を除くほぼ全身骨 (大腿骨に病変)
	24-Y-3	—	女性	不明		下肢骨のみ
	24-SK-1	—	不明	幼児	1~1.5歳	頭蓋、椎骨、肋骨
	24-MA-1	—	不明	幼児	1.5歳	下顎骨のみ
	24-MA-2	—	女性	不明		下顎骨のみ
25号墓	25-Y-1	—	女性	不明		
	25-Y-2	—	女性	不明		
	25-VE-1	—	不明	不明		椎骨のみ
	25-VE-2	—	—	小児		腓骨のみ
32号墓	32-SK-1	32-1	女性	壮年		
	32-SK-2	32-2	男性	熟年		刀創
	32-SK-3	32-3-1	男性	壮年		
	32-SK-4	32-3-2	—	壮年		
	32-SK-5	32-4	男性	熟年		
	32-SK-6	32-5	女性	壮年		
	32-SK-7	32-6	男性	壮年		
	32-SK-8	32-8	—	小児	8歳前後	
	32-SK-9	32-9	女性	壮年		
	32-SK-10	32-10	男性	壮年		
	32-SK-11	32-11	男性	熟年		
	32-SK-12	32-12	—	幼児	5歳前後	
	32-SK-13	32-13	—	小児	6歳	
	32-SK-14	32-14	男性	熟年		
	32-SK-15	32-18	男性	熟年		
	32-SK-16	32-21-1	女性	壮年		
	32-SK-17	32-21-2	—	壮年		刀創
	32-SK-18	32-23	男性	壮年		
	32-SK-19	32-25	—	幼児		
	32-SK-20	32-20	—	小児		
32-MA-1	32-MA1	男性	不明			
32-MA-2	32-MA2	男性	不明			

SK：頭蓋、MA：下顎骨、VE：椎骨

表4 脳頭蓋 (mm) (Calvaria)

	由比ヶ浜南32															
	32-SK-1 女性	32-SK-2 男性	32-SK-5 男性	32-SK-6 女性	32-SK-7 男性	32-SK-9 女性	32-SK-10 男性	32-SK-11 男性	5歳前後	6歳	32-SK-13 男性	32-SK-14 男性	32-SK-15 女性	32-SK-16 女性	32-SK-17 男性	
1. 頭蓋最大長	-	(174)	-	-	-	179	195	176	159	168	191	-	-	-	-	
8. 頭蓋最大幅	139	-	-	-	139	140	132	137	129	137	137	-	-	-	-	
17. バジオン・ブレグマ	-	-	-	-	-	138	-	-	133	-	-	-	-	-	-	
8/1 頭蓋長幅示数	-	-	-	-	-	78.21	67.69	77.84	81.13	81.55	71.73	-	-	-	-	
17/1 頭蓋長高示数	90	-	-	98	-	77.10	-	-	83.65	-	-	-	-	-	-	
17/8 頭蓋幅高示数	-	-	-	111	-	98.57	-	-	103.10	-	-	-	-	-	-	
1+8+17/3 頭蓋モズルス	-	-	-	-	-	152.33	-	-	04.33	-	-	-	-	-	-	
5. 頭蓋底長	-	-	137	-	-	95	-	-	85	-	-	-	-	-	-	
9. 最小前頭幅	90	94	93	-	-	95	90	92	86	-	95	93	89	-	-	
10. 最大前頭幅	114	110	-	-	-	111	114	111	-	-	120	-	107	-	-	
11. 両耳幅	-	-	123	-	-	127	124	126	106	110	124	-	-	-	-	
12. 最大後頭幅	-	-	106	-	-	107	110	107	100	103	112	-	-	-	-	
13. 乳突幅	-	-	108	-	-	-	-	101	88	93	103	-	-	-	-	
7. 大後頭孔長	-	-	35	-	-	31	-	-	32	-	-	-	-	-	-	
16. 大後頭孔幅	-	-	27	-	-	27	-	32	26	28	-	-	-	-	-	
16/7 大後頭示数	-	-	-	-	-	87.57	-	-	81.25	-	-	-	-	-	-	
23. 頭蓋水平周	-	-	[332]	-	-	502	528	498	461	(477)	533	-	-	-	-	
24. 横弧長	-	-	-	-	[312]	318	315	247	299	307	313	-	-	-	-	
25. 正中矢状弧長	-	-	-	-	-	387	-	365	355	355	-	-	-	-	-	
26. 正中矢状前頭頂弧長	-	(115)	-	117	-	132	134	121	119	(118)	133	-	121	127	-	
27. 正中矢状後頭頂弧長	121	-	132	-	130	134	140	131	12	(133)	134	-	-	-	-	
28. 正中矢状後頭弧長	-	-	119	-	124	121	-	113	124	(104)	-	-	-	-	-	
29. 正中矢状前頭弦長	-	(105)	-	102	-	115	118	110	103	(106)	114	-	-	105	113	
30. 正中矢状後頭弦長	106	-	107	-	115	117	123	113	101	(115)	122	-	-	-	-	
31. 正中矢状後頭弦長	-	-	96	-	99	99	-	92	104	(87)	-	-	-	-	-	
29/26 矢状前頭示数	-	(91.30)	-	87.18	-	87.12	88.06	90.91	86.55	(89.83)	85.71	-	-	86.78	-	
30/27 矢状頭頂示数	87.60	-	81.06	-	88.46	87.31	87.86	86.26	90.18	(86.47)	91.04	-	-	-	-	
31/28 矢状後頭示数	-	-	80.67	-	79.84	81.82	-	81.42	83.87	(83.65)	-	-	-	-	-	

() : 片側×2、() : 推定値

表5 顔面頭蓋(mm、度)(Facial skeleton)

		由比ヶ浜南32							
		32-SK-2	32-SK-5	32-SK-6	32-SK-9	32-SK-11	32-SK-13	32-SK-14	32-SK-15
		男性	男性	女性	女性	男性	男性	男性	男性
40.	顔長	-	-	-	100	-	-	-	-
41.	側顔長	-	-	-	72	-	-	72	-
42.	下顔長	-	-	-	-	-	-	-	-
43.	上顔幅	-	110	107	106	106	-	-	108
45.	頬骨弓幅	-	-	-	(132)	-	-	132	-
46.	中顔幅	-	-	-	(98)	[106]	100	99	-
47.	顔高	-	-	-	-	-	-	-	-
48.	上顔高	-	-	-	74	73	-	67	-
47/45	顔示数(K)	-	-	-	-	-	-	-	-
48/45	上顔示数(K)	-	-	-	(56.06)	-	-	50.76	-
47/46	顔示数(V)	-	-	-	-	-	-	-	-
48/46	上顔示数(V)	-	-	-	(75.51)	(68.87)	-	67.68	-
40+45+47/3	顔面モズルス	-	-	-	-	-	-	-	-
50.	前眼窩間幅	-	-	-	17	-	-	18	-
44.	両眼窩幅	-	-	-	85	-	-	96	-
50/44	眼窩間示数	-	-	-	17.89	-	-	18.75	-
51.	眼窩幅(右)	-	-	-	42	49	-	(28)	-
	(左)	-	-	-	42	-	-	41	-
52.	眼窩高(右)	-	-	-	33	34	-	45	-
	(左)	-	-	-	34	-	-	(34)	-
52/51	眼窩示数(右)	-	-	-	87.57	69.39	-	(62.22)	-
	(左)	-	-	-	80.95	-	-	(82.97)	-
54.	鼻幅	-	-	27	26	25	-	25	-
55.	鼻高	-	-	-	55	52	-	50	-
54/55	鼻示数	-	-	-	47.27	48.08	-	50.00	-
55(1).	梨状口高	-	-	-	-	-	-	-	-
56.	鼻骨長	26	-	-	-	-	-	-	-
57.	鼻骨最小幅	9	-	-	8	9	-	10	-
57(1).	鼻骨最大幅	-	-	-	-	-	-	-	-
60.	上顎歯槽長	-	-	-	54	-	-	49	-
61.	上顎歯槽幅	-	-	62	64	67	-	62	-
62.	口蓋長	-	-	-	-	49	-	39	-
63.	口蓋幅	-	-	38	41	-	-	39	-
64.	口蓋高	-	-	12	13	-	-	8	-
61/60	上顎歯槽示数	-	-	-	118.52	-	-	126.53	-
63/62	口蓋示数	-	-	-	-	-	-	100.00	-
64/63	口蓋高示数	-	-	-	31.71	-	-	20.51	-
72.	全側面角	-	-	-	80	-	-	-	-
73.	鼻側面角	-	-	-	82	-	-	-	-
74.	歯槽側面角	-	-	-	75	-	-	-	-

〔 〕 : 片側×2、() : 推定値

表6 鼻根部 (mm、度)(Nasal root)

		由比ヶ浜南32	
		32-SK-14	32-SK-9
		男性	男性
50.	前眼窩間幅	18	17
50 A.	鼻根横弧長	19	20
50/50A	鼻根彎曲示数	94.74	85.00
57.	鼻骨最小幅	10	8
44.	両眼窩幅	98	95
50/44	眼窩間示数	18.37	17.89
a.	前頭突起上幅(右)	13	8
	(左)	13	7
b.	前頭突起水平傾斜角	-	104
c.	G - N 投影距離	-	3
d.	鼻根角	-	-
e.	G - R 距離	-	-
f.	垂線高	-	-
f / e	鼻根陥凹示数	-	-
77.	鼻頬骨角	-	143
F a	f m o 間距離	-	96
F h	垂線高	-	16
F h / F a	顔面扁平示数	-	16.67

表8 肩甲骨 (mm)(Scapula)

		由比ヶ浜南24
		24-Y-2
		女性
12.	関節窩長(右)	30
	(左)	-
13.	関節窩幅(右)	22
	(左)	-
14.	関節窩深(右)	3
	(左)	-
13/12	関節窩長幅示数(右)	73.33
	(左)	-
14/12	関節窩彎曲示数(右)	10.00
	(左)	-

表9 鎖骨 (mm)(Clavicula)

		由比ヶ浜南24
		24-Y-2
		女性
1.	鎖骨最大長(右)	139
	(左)	137
2 a	骨体彎曲高(右)	29
	(左)	28
2(1)	肩峰端彎曲高(右)	26
	(左)	25
4.	中央垂直径(右)	8
	(左)	8
5.	中央矢状径(右)	13
	(左)	12
6.	中央周(右)	35
	(左)	36
6/1	長厚示数(右)	25.18
	(左)	26.28
2 a / 1	彎曲示数(右)	20.86
	(左)	20.44
4/5	鎖骨断面示数(右)	61.54
	(左)	66.67
2(1)/1	肩峰端彎曲示数(右)	18.71
	(左)	18.25

表7 下顎骨(mm、度)(Mandibula)

		由比ヶ浜南24			由比ヶ浜南32	
		24-Y-1	24-Y-2	24-MA-2	32-MA-1	32-MA-2
		13歳前後	女性	男性	男性	男性
65	下顎関節突起幅	112	116	-	-	-
65(1).	下顎筋突起幅	(97)	87	-	-	-
66	下顎角幅	-	95	-	-	-
67	前下顎幅	46	47	-	48	48
68	下顎長	102	105	-	-	-
68(1).	下顎長	-	71	-	-	-
69	オトガイ高	-	32	-	39	36
69(1).	下顎体高(右)	29	31	-	34	35
	(左)	28	30	-	36	34
69(2).	下顎体高(右)	23	29	26	29	29
	(左)	23	28	-	29	27
70	枝高(右)	50	57	-	-	61
	(左)	-	61	-	-	-
70(1).	前枝高(右)	(50)	58	-	-	66
	(左)	(51)	57	-	-	-
70(2).	最小枝高(右)	41	45	55	-	54
	(左)	43	43	-	50	-
70(3).	下顎切痕高(右)	11	16	-	-	13
	(左)	10	16	-	-	-
71(1).	下顎切痕幅(右)	31	36	-	-	45
	(左)	30	37	-	-	-
71	枝幅(右)	32	37	34	-	40
	(左)	33	36	-	34	-
71a.	最小枝幅(右)	32	37	34	-	40
	(左)	33	36	-	34	-
79	下顎枝角(右)	128	118	-	-	122
	(左)	(126)	118	-	-	-
66/65	下顎幅示数	-	81.90	-	-	-
68/65	幅長示数	91.07	90.52	-	-	-
68(1)/65	幅長示数	-	61.21	-	-	-
69(2)/69	下顎高示数(右)	79.31	90.63	-	74.36	80.56
	(左)	82.14	87.50	-	74.36	75.00
71/70	下顎枝示数(右)	64.00	64.91	-	-	65.57
	(左)	-	59.02	-	-	-
71a/70(2)	下顎枝示数(右)	78.05	82.22	-	-	74.07
	(左)	80.49	83.72	-	68.00	-
70(3)/71(1)	下顎切痕示数(右)	35.48	44.44	-	-	28.89
	(左)	33.33	43.24	-	-	-

表 10 上腕骨 (mm)(Humerus)

	由比ヶ浜南24		由比ヶ浜南25	
	24-Y-1 13歳前後	24-Y-2 女性	HU-1	女性
1. 上腕骨最大長(右)	214	279	-	-
(左)	214	276	-	-
2. 上腕骨全長(右)	-	276	-	-
(左)	-	-	-	-
3. 上端幅(右)	-	43	-	-
(左)	-	42	-	-
3(1). 横上径(右)	-	43	-	-
(左)	-	43	-	-
4. 下端幅(右)	-	54	-	-
(左)	-	-	-	-
5. 中央最大径(右)	17	19	-	-
(左)	16	18	19	-
6. 中央最小径(右)	14	16	-	-
(左)	14	16	13	-
7. 骨体最小周(右)	50	56	53	-
(左)	49	54	53	-
7 (a). 中央周(右)	50	58	-	-
(左)	50	56	58	-
8. 頭周(右)	-	119	-	-
(左)	-	127	-	-
9. 頭最大横径(右)	-	37	-	-
(左)	-	37	-	-
10. 頭最大矢状径(右)	-	39	-	-
(左)	-	38	-	-
11. 滑車幅(右)	-	19	21	-
(左)	-	-	19	-
12. 小頭幅(右)	-	15	16	-
(左)	-	-	15	-
12 (a) 滑車幅および小頭幅(右)	-	38	41	-
(左)	-	-	36	-
13. 滑車深(右)	-	22	23	-
(左)	-	-	-	-
14. 肘頭窩幅(右)	-	25	-	-
(左)	-	-	-	-
15. 肘頭窩深(右)	-	12	-	-
(左)	-	-	-	-
6/5 骨体断面示数(右)	82.35	84.21	-	-
(左)	87.50	88.89	68.42	-
7/1 長厚示数(右)	23.36	20.07	-	-
(左)	22.90	19.57	-	-

表 11 橈骨 (mm)(Radius)

	由比ヶ浜南24		由比ヶ浜南25	
	24-Y-1 13歳前後	24-Y-2 女性	HU-1	女性
1. 最大長(右)	161	204	-	-
(左)	160	205	-	-
1 b. 平行長(右)	-	202	-	-
(左)	-	202	-	-
2. 機能長(右)	-	194	-	-
(左)	-	195	-	-
3. 最小周(右)	-	38	38	-
(左)	-	37	-	-
4. 骨体横径(右)	-	14	-	-
(左)	-	14	-	-
4 a. 骨体中央横径(右)	12	14	16	-
(左)	12	13	-	-
4(1). 小頭横径(右)	-	-	(21)	-
(左)	-	19	-	-
4(2). 頸横径(右)	-	14	13	-
(左)	-	13	-	-
5. 骨体矢状径(右)	-	11	-	-
(左)	-	10	-	-
5 a. 骨体中央矢状径(右)	9	11	10	-
(左)	9	11	-	-
5(1). 小頭矢状径(右)	-	-	21	-
(左)	-	19	-	-
5(2). 頸矢状径(右)	-	14	13	-
(左)	-	13	-	-
5(3). 小頭周(右)	-	-	-	-
(左)	-	61	-	-
5(4). 頸周(右)	-	45	42	-
(左)	-	42	-	-
5(5). 骨体中央周(右)	34	41	44	-
(左)	34	39	-	-
5(6). 骨下端幅(右)	-	28	-	-
(左)	-	28	-	-
3/2 長厚示数(右)	21.12	19.59	-	-
(左)	21.25	18.97	-	-
5/4 骨体断面示数(右)	-	78.57	-	-
(左)	-	71.43	-	-
5 a / 4 中央断面示数(右)	75.00	78.57	62.50	-
(左)	75.00	84.62	-	-

表 12 尺骨 (mm) (Ulna)

	由比ヶ浜南24		由比ヶ浜南25	
	24-Y-1 13歳前後	24-Y-2 女性	24-Y-1 13歳前後	25-Y-1 女性
1. 最大長(右)	179	-	-	-
(左)	176	226	-	-
2. 機能長(右)	-	-	-	-
(左)	-	202	-	-
2(1). 肘頭尺骨頭長(右)	-	-	-	-
(左)	-	222	-	-
3. 最小周(右)	31	33	36	36
(左)	30	32	-	-
6. 肘頭幅(右)	-	-	22	22
(左)	-	22	-	-
6(1). 上幅(右)	-	-	30	30
(左)	-	29	-	-
7. 肘頭深(右)	-	21	20	20
(左)	-	20	-	-
8. 肘頭高(右)	-	20	18	18
(左)	-	17	-	-
11. 尺骨矢状径(右)	-	10	10	13
(左)	-	13	-	-
12. 尺骨横径(右)	-	15	16	16
(左)	-	16	-	-
S 中央最小径(右)	10	10	13	13
(左)	9	12	-	-
L 中央最大径(右)	13	15	16	16
(左)	12	15	-	-
C 中央周(右)	39	43	49	49
(左)	36	44	-	-
3/2 長厚示数(右)	17.32	-	-	-
(左)	17.05	15.84	-	-
11/12 骨体断面示数(右)	-	66.67	81.25	81.25
(左)	-	81.25	-	-
S/L 中央断面示数(右)	75.00	66.67	81.25	81.25
(左)	75.00	80.00	-	-

表 13 大腿骨 (mm) (Femur)

	由比ヶ浜南24		由比ヶ浜南24		由比ヶ浜南24	
	24-Y-1 13歳前後	24-Y-2 女性	24-Y-1 13歳前後	24-Y-2 女性	24-Y-3 女性	-
1. 最大長(右)	315	383	-	-	-	-
(左)	313	385	387	387	387	387
2. 自然位全長(右)	-	380	-	-	-	-
(左)	-	381	-	-	-	-
3. 最大髁子長(右)	-	370	-	-	-	-
(左)	-	372	-	-	-	-
4. 自然位髁子長(右)	-	359	-	-	-	-
(左)	-	359	-	-	-	-
6. 骨体中央矢状径(右)	20	26	25	25	25	25
(左)	22	(27)	23	23	23	23
7. 骨体中央横径(右)	20	24	26	26	26	26
(左)	20	(31)	26	26	26	26
8. 骨体中央周(右)	64	80	79	79	79	79
(左)	66	(103)	76	76	76	76
9. 骨体上横径(右)	24	28	29	29	29	29
(左)	24	(32)	29	29	29	29
10. 骨体上矢状径(右)	18	21	20	20	20	20
(左)	18	(22)	19	19	19	19
15. 頸垂直径(右)	-	27	-	-	-	-
(左)	-	27	29	29	29	29
16. 頸矢状径(右)	-	23	-	-	-	-
(左)	-	23	24	24	24	24
17. 頸周(右)	-	91	-	-	-	-
(左)	-	90	84	84	84	84
18. 頭垂直径(右)	-	39	-	-	-	-
(左)	-	39	24	24	24	24
19. 頭横径(右)	-	-	-	-	-	-
(左)	-	38	24	24	24	24
20. 頭周(右)	-	-	-	-	-	-
(左)	-	134	142	142	142	142
21. 上顆幅(右)	-	73	-	-	-	-
(左)	-	76	-	-	-	-
8/2 長厚示数(右)	20.32	21.05	-	-	-	-
(左)	21.09	-	19.64	19.64	19.64	19.64
6/7 骨体中央断面示数(右)	100.00	108.33	96.15	96.15	96.15	96.15
(左)	90.91	(87.10)	88.46	88.46	88.46	88.46
10/9 上骨体断面示数(右)	75.00	75.00	68.97	68.97	68.97	68.97
(左)	75.00	(68.75)	65.52	65.52	65.52	65.52

表 14 脛骨(mm)(Tibia)

		由比ヶ浜南24	由比ヶ浜南24	由比ヶ浜南24
		24-Y-1	24-Y-2	24-Y-3
		13歳前後	女性	女性
1.	脛骨全長(右)	242	301	-
	(左)	-	302	-
1 a.	脛骨最大長(右)	-	306	-
	(左)	-	306	-
1 b.	脛骨長(右)	-	298	-
	(左)	-	296	-
2.	顆距間距離(右)	-	285	-
	(左)	-	286	-
3.	最大上端幅(右)	-	65	-
	(左)	-	65	-
3 a.	上内関節面幅(右)	-	27	-
	(左)	-	27	-
3b.	上外関節面幅(右)	-	28	-
	(左)	-	(27)	-
4 a.	上内関節面深(右)	-	40	-
	(左)	-	40	-
4 b.	上外関節面深(右)	-	34	-
	(左)	-	34	-
6.	最大下端幅(右)	-	36	-
	(左)	-	36	-
7.	下端矢状径(右)	-	30	33
	(左)	-	31	35
8.	中央最大径(右)	24	27	26
	(左)	25	27	25
8 a.	栄養孔位最大径(右)	-	31	34
	(左)	-	30	32
9.	中央横径(右)	19	19	19
	(左)	19	18	18
9 a.	栄養孔位横径(右)	-	21	22
	(左)	-	20	20
10.	骨体周(右)	70	19	72
	(左)	70	18	69
10 a.	栄養孔位周(右)	-	21	89
	(左)	-	20	83
10 b.	最小周(右)	68	68	68
	(左)	68	66	66
9/8.	中央断面示数(右)	79.17	70.37	73.08
	(左)	76.00	66.67	72.00
9 a /8 a	栄養孔位断面示数(右)	-	67.74	64.71
	(左)	-	66.67	62.50
10 b /1	長厚示数(右)	28.10	22.59	-
	(左)	-	21.85	-

表 15 腓骨 (mm)(Fibula)

	由比ヶ浜南24		
	24-Y-1	24-Y-2	24-Y-3
	13歳前後	女性	女性
1. 最大長(右)	234	301	-
(左)	-	301	-
2. 中央最大径(右)	12	15	15
(左)	13	14	14
3. 中央最小径(右)	10	11	11
(左)	10	11	11
4. 中央周(右)	39	44	44
(左)	39	43	43
4 a. 最小周(右)	32	33	36
(左)	30	33	35
4 b. 頸横径(右)	-	13	11
(左)	-	10	13
4 c. 頸矢状径(右)	-	12	11
(左)	-	11	10
4(1). 上端幅(右)	-	25	-
(左)	-	25	-
4(1 a). 上端矢状幅(右)	-	23	-
(左)	-	22	-
4(2). 下端幅(右)	-	18	-
(左)	-	19	-
4(2 a). 下端矢状幅(右)	-	23	-
(左)	-	23	-
3/2 中央断面示数(右)	83.33	73.33	73.33
(左)	76.92	78.57	78.57
4 a /1 長厚示数(右)	13.68	10.96	-
(左)	-	10.96	-

表 16 膝蓋骨 (mm)(Patella)

	由比ヶ浜南24	
	24-Y-2	
	女性	
1. 最大高(右)	-	
(左)	39	
2. 最大幅(右)	-	
(左)	37	
3. 最大厚(右)	-	
(左)	18	
4. 関節面高(右)	-	
(左)	33	
5. 内関節面幅(右)	-	
(左)	17	
6. 外関節面幅(右)	-	
(左)	22	
1/2 膝蓋骨高幅示数(右)	-	
(左)	105.41	

表 17 推定身長値 (cm)(Stature)a)

	由比ヶ浜南24		
		24-Y-2	24-Y-3
		女性	女性
Pearsonの式	上腕骨 (右)	148.31	-
	(左)	147.49	-
	橈骨 (右)	149.42	-
	(左)	149.76	-
大腿骨	(右)	147.34	-
	(左)	147.73	148.12
脛骨	(右)	145.57	-
	(左)	145.80	-
藤井の式	上腕骨 (右)	147.70	-
	(左)	147.47	-
	橈骨 (右)	146.79	-
	(左)	147.74	-
大腿骨	(右)	146.84	-
	(左)	147.55	148.01
脛骨	(右)	145.19	-
	(左)	145.36	-



下顎骨 (The mandible)



上肢骨 (Bones of the upper limb)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

由比ヶ浜南 24 号墓 24-Y-1 (小児・13 歳前後)

(The 24-Y-1 from the Yuigahama-minami site, juvenile)



下顎骨 (The mandible)

由比ヶ浜南 24 号墓 24-MA-1 (幼児・1.5 歳)

(The 24-MA-1 from the Yuigahama-minami site, infant)



下顎骨 (The mandible)

由比ヶ浜南 24 号墓 24-MA-2 (女性・年齢不明)

(The 24-MA-2 from the Yuigahama-minami site, female unknown age)



下顎骨 (The mandible)



上肢骨 (Bones of the upper limb)



下肢骨 (Bones of the lower limb)



肩甲骨 (The Scapula)



寛骨 (The Pelvis)

由比ヶ浜南 24 号墓 24-Y-2 (女性・年齢不明)

(The 24-Y-2 from the Yuigahama-minami site, female unknown age)



左大腿骨 (病变)(The left femur)

由比ヶ浜南 24 号墓 24-Y-2(女性・年齢不明)

(The 24-Y-2 from the Yuigahama-minami site, female unknown age)



頭蓋 (The skull)

由比ヶ浜南 24 号墓 24-SK-1 (幼児・1 ~ 1.5 歳)

(The 24-SK-1 from the Yuigahama-minami site, infant)



下肢骨 (Bones of the lower limb)

由比ヶ浜南 24 号墓 24-Y-3 (女性・年齢不明)

(The 24-Y-3 from the Yuigahama-minami site, female unknown age)



由比ヶ浜南 25 号墓 25-Y-2(女性・年齢不明)
(The 25-Y-2 from the Yuigahama-minami site, female unknown age)



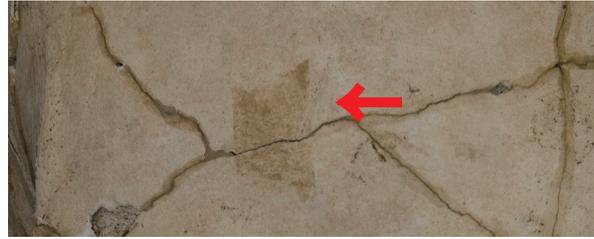
由比ヶ浜南 25 号墓 25-Y-1(女性・年齢不明)
(The 25-Y-1 from the Yuigahama-minami site, female unknown age)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-1 (女性・壮年)

(The 32-SK-1 from the Yuigahama-minami site, young adult female)



刀創



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-2 (男性・熟年)

(The 32-SK-2 from the Yuigahama-minami site, mature male)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-3 (男性・壮年)

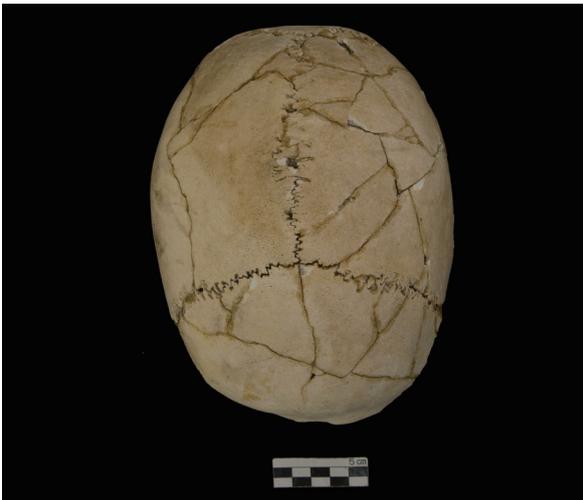
(The 32-SK-3 from the Yuigahama-minami site,young adult male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-5 (男性・熟年)

(The 32-SK-5 from the Yuigahama-minami site,mature male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-7 (男性・壮年)

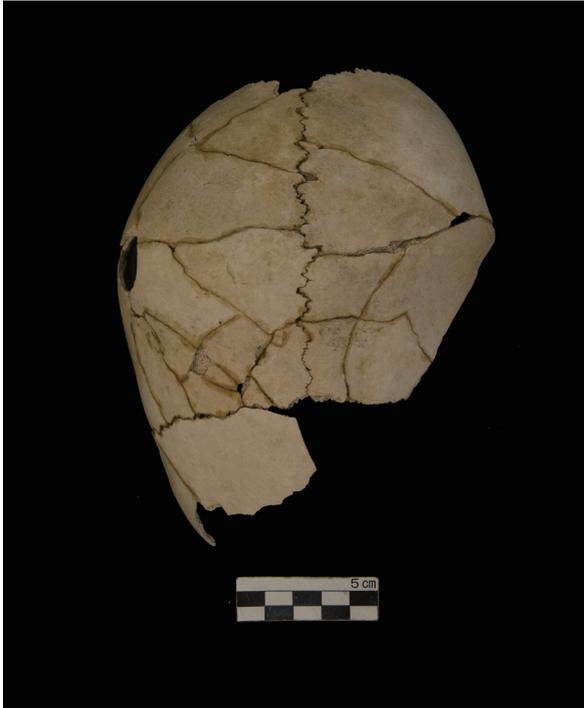
(The 32-SK-7 from the Yuigahama-minami site,young adult male)



頭蓋 (The skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-6 (女性・壮年)

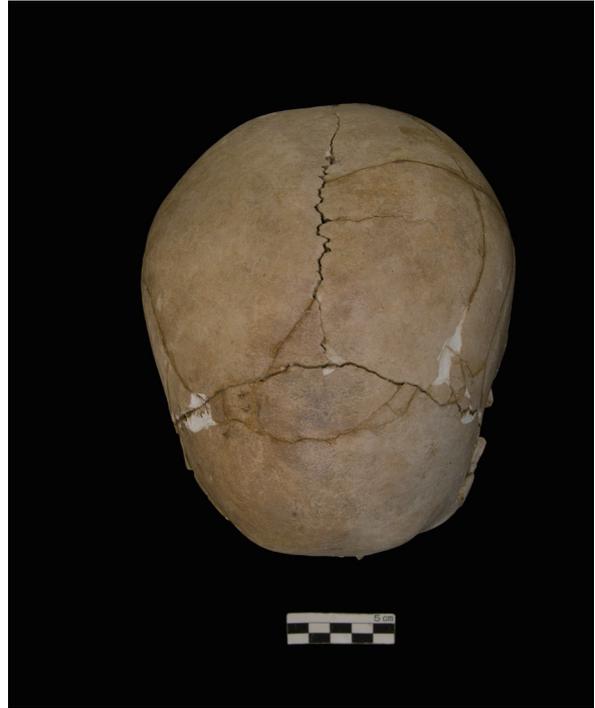
(The 32-SK-6 from the Yuigahama-minami site,young adult female)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-8 (小児・8 歳前後)

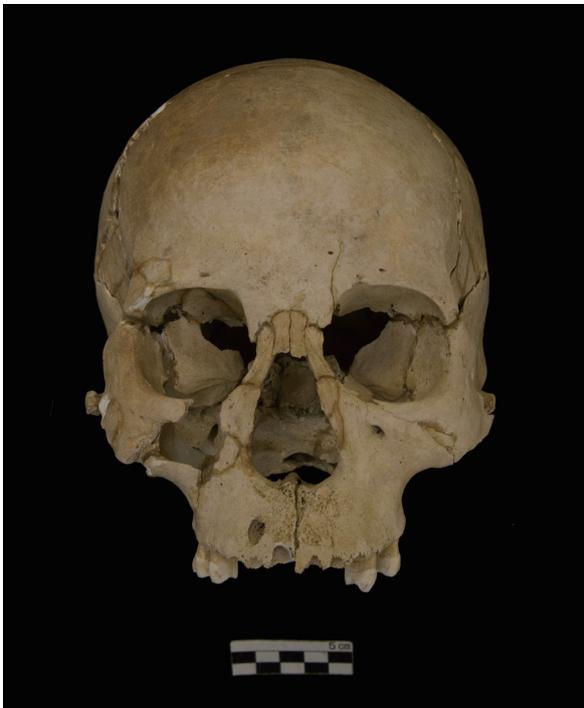
(The 32-SK-8 from the Yuigahama-minami site, juvenile)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-9 (女性・壮年)

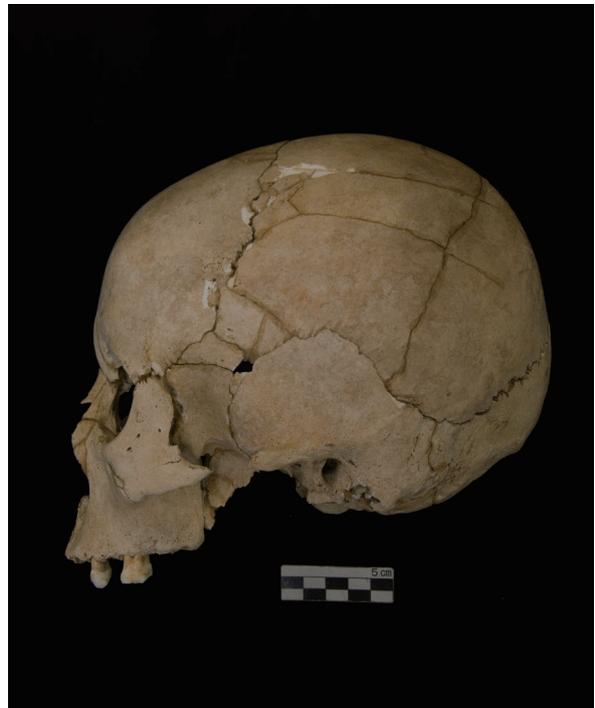
(The 32-SK-9 from the Yuigahama-minami site, young adult female)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-9 (女性・壮年)

(The 32-SK-9 from the Yuigahama-minami site, young adult female)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)



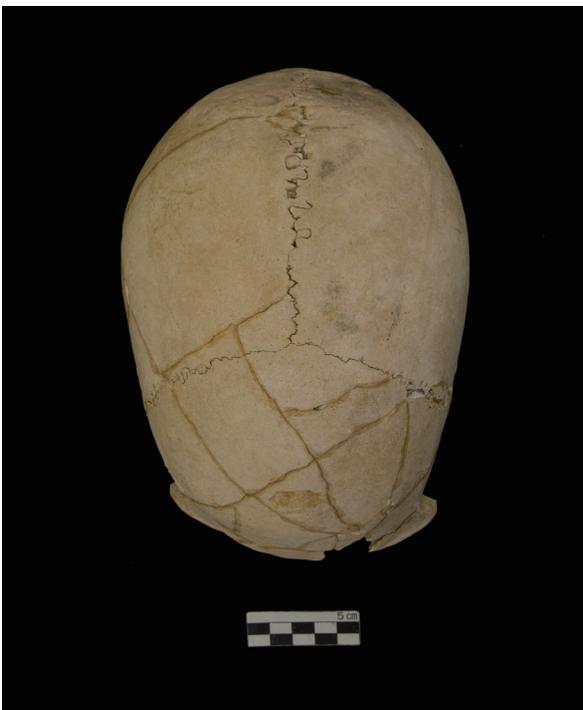
頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



矮小左側側切歯



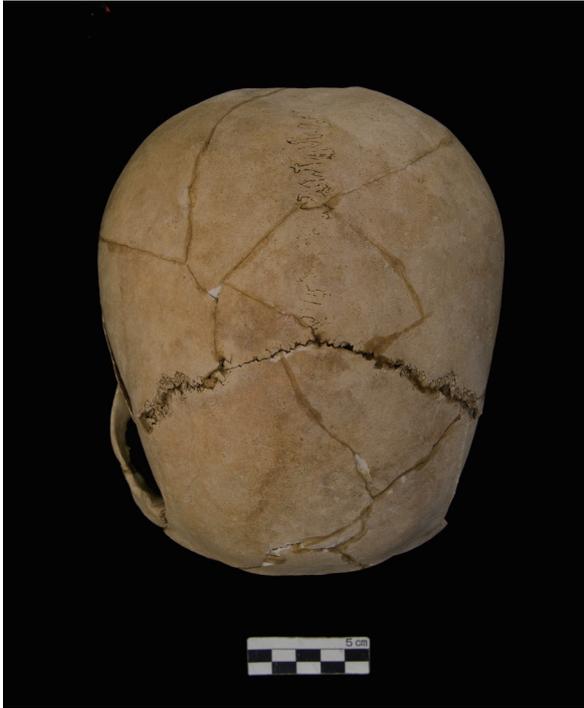
頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-10 (男性・壮年)

(The 32-SK-10 from the Yuigahama-minami site, young adult male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-11 (男性・熟年)

(The 32-SK-11 from the Yuigahama-minami site, mature male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



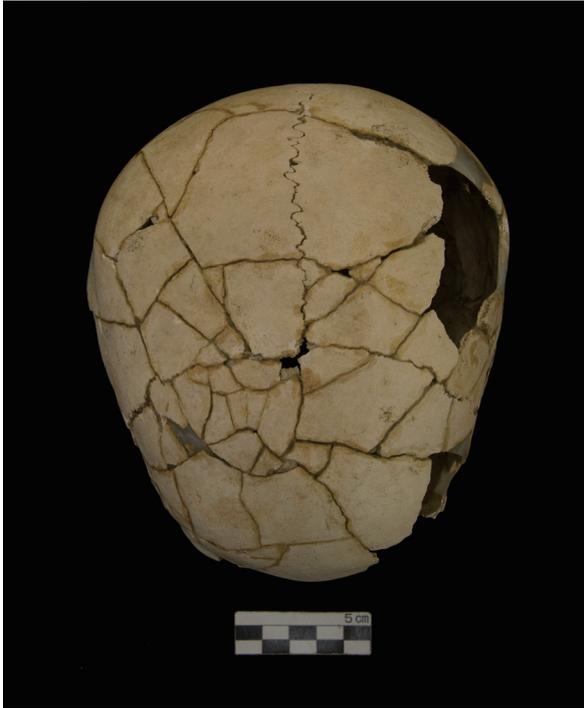
頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-12 (幼児・5 歳前後)

(The 32-SK-12 from the Yuigahama-minami site, infant)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



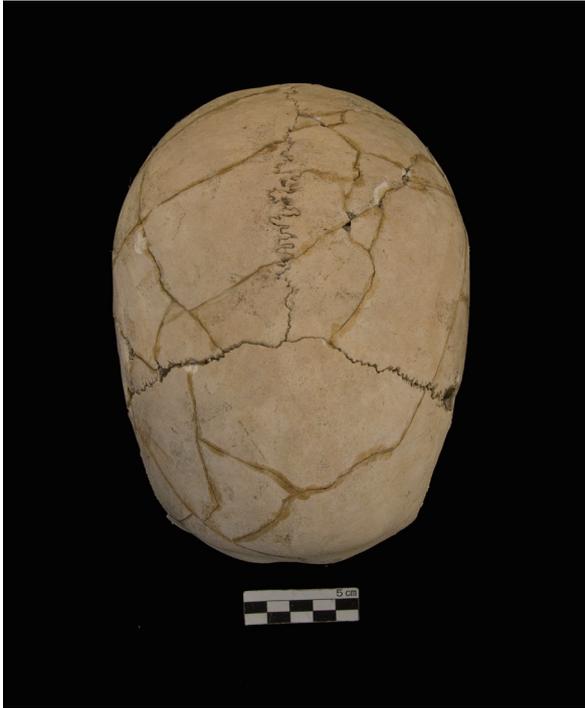
頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-13 (小児・6 歳)

(The 32-SK-13 from the Yuigahama-minami site, juvenile)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)



左側犬齒過剩咬耗



頭蓋側面 (Lateral view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-14 (男性・熟年)

(The 32-SK-14 from the Yuigahama-minami site, mature male)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-16 (女性・壮年)

(The skeleton 32-SK-16 from the Yuigahama-minami site, mature female)



頭蓋上面 (Superior view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-17 (性別不明・壮年)

(The skeleton 32-SK-17 from the Yuigahama-minami site, young adult unknown sex)



頭蓋正面 (Frontal view of the skull)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-SK-18 (男性・壮年)

(The 32-SK-18 from the Yuigahama-minami site, young adult male)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-MA-2 (男性・年齢不明)

(The 32-MA-2 from the Yuigahama-minami site, male unknown age)



下顎骨 (The mandible)

由比ヶ浜南 32 号墓 32-MA-1 (男性・年齢不明)

(The 32-MA-1 from the Yuigahama-minami site, male unknown age)



下顎骨 (The mandible)